



9月の季節の挨拶、「秋涼の候」(秋の訪れとともに涼しくなってきましたが)、「処暑の候」(暑さがおさまる頃となりましたが)、などとはとても言えない暑さですね。まだまだ暑さは続くようで、世界的にも気温が高まり、国連事務総長は「地球沸騰化」の時代になったと発言しました。

1923年9月1日11時58分、マグニチュード7.9の大地震が関東を襲いました。東京中に火の手が上がり、最高気温46.4度にまでなったそうです。大火災が原因として、公式の気象庁の記録にはなっていないが、被災者の苦しみは如何ばかりかと思えます。丁度100年経ったのですね。

暑さ対策に「外に出ないでクーラーを効かせ室内にいる。」と消極的な指導だけがされていることが気になります。長引くコロナ対策で、感染症に罹りやすくなり、この暑さの中でもインフルエンザやその他の感染症の罹患が多くなっています。室内に籠ることが多くなった高齢者の体調が不安定になり、最近になって病院にようやく通うことができ、病気がわかったということもあります。

私の故郷の群馬は、冬は空っ風で寒く朝起きたくなくったことや、北に向かって歩くことが大変でした。夏はすさまじく暑く蒸して、夕方には雷が雷鳴を轟かせて辺りに落ちました。生きる為には根性をふり絞らなければならぬ、と子供ながらに思ったものでした。戸や窓は開けっ放しです。ただで日除けをし、前のドブの水を柄杓で通りに撒くのは私の担当でした。冷やしたスイカやキュウリを縁側で食べるのはすごく美味しく、外に飛び出て遊んでいました。扇風機がブンブン動き、それでも暑い時は手拭いを濡らして頭に被って大人達は仕事をしていました。私は汗まみれになって自転車でプールに行き、或いは草野球をしていました。

政府や社会は、注意や警告ばかりをします。それが正當なものかどうかはわかりませんが、注意をしておけば責任は逃れます。しかし、自己管理は自己責任です。私自身は、暑い日中でも歩き、作業やスポーツ、そして仕事をします。そして、自分の健康状態を確認します。もし、そのようなことができなくなったら、引退しなければならぬと覚悟を決めています。災害の時は、誰よりも働き、多くの人を助けたいと願い、身体を鍛えるのは義務であると思っています。クリニックは、災害時にも診察をさせていただきます。次は、もっと大きいかもしれません。

事務長 柏崎久雄

感染症で受診される方へ

発熱やくしゃみ・咳症状のある方、水ぼうそう等伝染性疾患の子どもの方は、入口、待合室・診察室、会計の流れが異なります。また、トイレ後のハンドソープによる手洗いにご協力ください。

★入口

正面入口横の中央通路のインターホンを押してください。

★待合室・診察室

2階の、第二待合室です。

★会計

疾患によっては、廊下会計となる場合があります。

ヨーゼフのキャンペーン

へム鉄アルファ Fe8

亜鉛プラス

10月13日(金)までです。

聖書を読む会 9/12(火)13:40~

- * 新型コロナウイルスの感染対策が緩和されましたが、これまで同様、院内に入る前にマスクを付け、入り口に置いてあるアルコール消毒薬で手を十分に殺菌してください。周りの人にご配慮ください。トイレは待合室毎に指定の所をご利用ください。
- * 当院では体調の悪い方が新型コロナウイルスなどに感染しない為に、発熱外来を継続しています。午前は10時~11時、午後は14時~15時10分までで電話予約が必要です。来院時は裏のインターホンでお知らせください。発熱があってもこの予約を守らないで来院された場合診察をお断りすることもありますのでご注意ください。通常診察はこの時間も並行しておこないます。
- * 病児保育は、他院で受診しても、当院長の診察を必須条件として利用していただけます。新型コロナウイルスに感染している場合には利用することはできません。
- * 保険電話診察でのお薬処方について、コロナ特例で認められておりましたが、7月末で制度終了の為、8月以降はオンライン診療が来院での対応となります。詳細は受付でご相談ください。
- * 提携外コインパーキングをご利用の方は、受付にお申し出ください。お時間に応じて最大400円の補助があります(ナビパーク満車時に限りません)。

< 北海道東部見学と北方領土 >

この夏は道東（北海道の釧路、根室、知床、北見、十勝）を訪問してきました。この辺りは夏でも涼しく、朝は18℃、昼でも25℃くらいでした。

1. 北方四島は近かった。

北方四島を眺めるために早朝、根室の先、納沙布岬に行ってみましたが、濃霧でとても見えません。海が冷たいので霧が湧くのです。納沙布岬から歯舞群島まで3.7kmで、望郷の家、望郷の塔、北方館など北方四島に住んでいた人々の熱い思いが感じられました。

市内にある北方四島交流センターにも訪れました。四島に住んでいた人々の暮らしや歴史が記されており、四島の大きさにも驚かされました。

沖縄本島の広さが1207km²ですから、択捉（えとろふ）島は日本最大の島であり、国後（くなしり）島も2番目に広いのです。

択捉島には1000m以上の火山が多くあり、松前藩が1635年に測量をしています。1945年8月15日には、3608人の日本人が住んでいました。

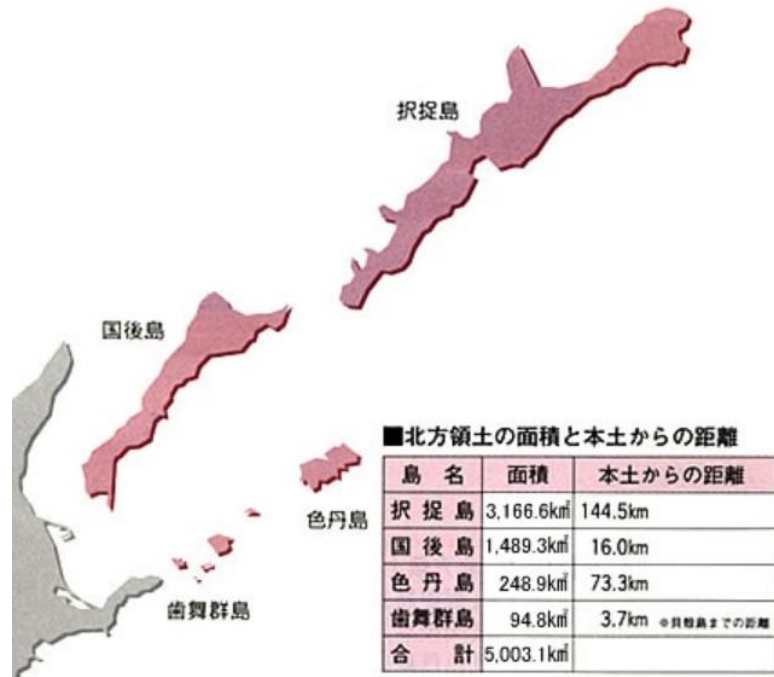
国後島を眺めるために近くの標津（しべつ）港に行きました。地図を見ればわかるように、知床半島と根室半島を結んだ直線の中に入り、標津からは24kmで、2021年8月に国後島から亡命を求めてロシア人が標津まで泳いで来ました。国後島の山々は、標津町の北方領土館からは肉眼で見えました。高く悠然とそびえ立つ山々は、確かに日本なのだと感動するほど近く感じました。終戦当時、7364人が住んでいました。

2. 北方四島への侵略

1945年8月9日ソ連は対日参戦し、日本がポツダム宣言を受諾した後の同年8月28日から遅くとも9月5日までの間に北方四島の全てを占領しました。当時四島にはソ連人は一人もおらず、日本人は四島全体で約1万7千人が住んでいましたが、ソ連は1946年に四島を一方的に自国領に「編入」し、1948年までに全ての日本人を強制退去させました。今日に至るまでソ連、ロシアによる不法占拠が続いています。（外務省HPより引用、省略）

1951年9月、日本はサンフランシスコ平和条約により、ポーツマス条約で獲得した樺太の一部と千島列島に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄しました。しかし、そもそも北方四島は千島列島の中に含まれません。択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島は歴史的にみても、一度も他の国の領土になったことがないのです。さらに日本人以外の人々が定住したことがない地域であることから、北方四島は、千島列島とは明確に区別して、「北方四島」と呼び、わが国固有の領土であると主張し、その返還を求めているのです。（別海町HPより引用、省略）

終戦の直前（6日前）に参戦したソ連は、終戦後も北方四島を侵略して略奪しました。2022年2月24日に、ロシアがウクライナ侵攻を始め、武力で略奪をしようとしたのと同様です。日本もウクライナもロシアによって武力で強引に侵略されたのです。



3. OSO18の出没地域をドライブしました。

2023年7月30日に釧路町の牧場で体長2.2m、体重330kgのヒグマ、通称OSO18が射殺されました。5年に亘って牛66頭を殺害した凶暴なヒグマです。私たちは、その領域を3日間ドライブしていました。

8/10の15時半に釧路空港でレンタカーを借り、ナビ通りにともかく根室まで142kmを走らなければならぬと急いだのですが、道がよくわからないまま飲み物を買おうとしても50kmほど原野の中の道で店も家もありませんでした。70キロで走ると次々に抜かれるので、スピードを上げホテルには18時に着きました。対向車はあまりなく、原野を突っ切る道路で景色はかわりません。

根室からの帰りは、根室湾に面した汽水湖の**風蓮湖**に立ち寄りました。砂洲の春国岱（しゅんくにたい）によって海と分か



れた周囲96kmの広大な湖で冬には白鳥が飛来します。湖畔の道の駅スワンでは、この周辺でしか獲れない花咲ガニをいただきました。花が咲いたような真っ赤な色で美味しかったです。

続いて向かったのが霧多布岬です。名前の如く霧が湧いていて寒かったですね。人々がカメラで撮っているのを覗くと、湾にはラッコが3匹泳いでいて、近くにはアザラシもいました。



厚岸湖を横に釧路湿原の塘路湖畔にある宿に向かい82km、厚岸の市街から42km、途中飲み物を買おうとしたのですが、全く何の店もなく、原野の中を走りました。その周辺がなんとOSO18のうろついていた厚岸市、釧路町、標茶町だったので。最近の地方の宿は、夕食のない所が多くなっており、宿には温泉がないので、疲れを癒そうと温泉を探すと標茶駅の近くの23km先だそうで、18時頃に出かけました。真っ黒な湯で、房総半島の湯に似ていました。その後、レストランを探すと花火大会があるのでどこも休みで、コンビニで買って食べました。帰りは、20時頃で車の走らない真っ暗な道を走りましたが、鹿は出ませんでした。



翌日は、塘路湖畔にあった監獄の跡を見て、北海道開拓に囚人たちが貢献したことを知りました。彼らに職を教え、人材不足にも対応したようです。そして、釧路湿原の中を通るクチョロ原野塘路線という、あまり車の走らないデコボコ道を走り、コッタロ湿原展望台など湿原をドライブして釧路市湿原展望台にある遊歩道を2時間ほど散歩しました。



日曜は釧路で礼拝を守り、有名な釧路和商市場で海産物を買
い、帰りに合わせて発送しました。阿寒湖のアイヌ村を見学して
クッチャロ湖畔で泊まったペンションは、稲毛出身のクリスチャ
ン夫婦が経営していました。

4. 知床世界遺産へ

クッチャロ湖畔の砂場温泉は砂浜を掘ると70℃の温泉が湧き出
てきて妻は「熱い！」と飛び跳ねていました。摩周湖を経て80km
を走り標茶港の北方領土館を見学しました。近くで海鮮丼を食
べ、右に海別岳、左に斜里岳を眺めながら斜里町へ56km走りました。
斜里町を散策した後、40km走ってウトロのホテル到着。

翌朝6km先の知床五湖の自然センターに向かうも混雑して駐車す
るのに1時間待ち、そしてヒグマを避けるための講習15分を経て五
湖巡りに2時間ほど歩きました。

ヒグマは毎日出没しているそうですが、襲うことは殆どないそ
うで、人数制限の自然の遊歩道を歩きながら、素晴らしい景色の
湖を5つ巡り歩きました。世界遺産になっているだけあってよく手
入れされていました。一度は行ってみたいはいかがでしょうか。

その後、後輩牧師に会うために北見まで125km、そして糠平湖の
ホテルまで更に125km、さすがに長いドライブでした。夕方になると
何回も横断する鹿に会いました。



翌日は然別湖畔を経て帯広百年記念館を見学し、厳寒の北海道を開拓した人々の生活や森林伐
採、農業などの歴史を知りました。その後、後輩牧師を訪ね、温泉旅館で疲れを癒しました。

翌日は、沿岸の道を100kmほど走り空港に着きました。他の地域では台風や大雨の災害があつた
そうですが、私たちは充実した見学と観光の旅を過ごせました。広大な農地に植えられたジャガ
イモやトウモロコシ、ブドウなど、収穫も他の地方とは全く違う規模でした。ヒグマと会わなくて
良かった！

マリヤ・クリニック【公式】 YouTube

今回は発達障害の特徴と治療について、
分かりやすく説明しています。



チャンネル登録お願いします

《 診療時間 》

月曜～金曜 (午前 8 時 30 分～11 時 30 分、午後 2 時～5 時 10 分)
土曜 (午前 8 時 30 分～11 時 30 分、午後 2 時～4 時 30 分)

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・小中台小学校校医
- ・栄養医学(分子整合医学)



(携帯サイトへ)